

横浜市立南太田小学校 令和2年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
『大きくそだてかしわの木のように』	〈自分づくりに関する力〉

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子ども一人一人を大切にしながら、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わかる喜びやできる喜びを味わえる授業づくりを推進し、自分の思いや考えを自信を持って表現できる子どもを育成します。 ・ お互いを認め合い、高め合いながら、楽しく学校生活が送れるようにします。 ・ 健康な心身をつくるための生活習慣を形成するとともに、安全を考えた判断と行動ができるようにします。 ・ 地域の人や自然・文化とのつながりを大切に、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①休み時間に校庭や体育館を有効に活用することで、遊びを通じた体力づくりを推進する。②運動委員会を中心に、全校の児童が意欲的に参加し、体力の向上を目指すことができる活動を計画・実施する。③学校保健委員会を活用し、保健や安全に関する子どもの意識を高め、習慣化を図る働きかけをしていく。④新指導要領に対応した体育の授業・評価ができるよう職員研修や参考資料を充実させる。
担当	体育部

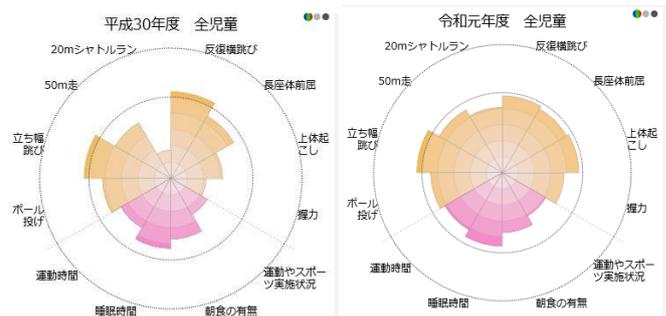
2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・平成30年度に比べ、全体的に体力の向上が見られるものの、横浜市の平均よりも若干低い数値になっている。運動時間、睡眠時間についても増加傾向にある。
- ・運動時間については、地域で野球、ダンス、武道などを習っている児童が多く見られるが、全く行っていない児童も存在し、二極化が見られる。
- ・8種目中、立ち幅跳びが横浜市の平均を越している。また、20mシャトルラン・握力、前年度よりもかなり高いポイントとなった。市の平均に近づきつつあり、体力が向上してきていると言える。

(2) 体力の概要と要因の分析

- ・平成30年度にくらべ、全体的に体力の向上が見られる。理由としては、校内・校庭の工事が終わり、外遊びができるようになったためだと考える。外遊びが体力の向上に効果的であることが分かった。
- ・生活面においては、スポーツや運動の実施状況、運動時間のポイントが平成30年度より向上した。しかし、市の平均よりも低いポイントである。引き続き、家庭における基本的な生活習慣の改善にも学校と連携していくことが課題である。



3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育での取り組み》

・体育科では、器械運動領域を重点領域とし、児童が「できた」「わかった」を味わえるようにするとともに、その成果が他領域においても反映されるように心がける。

・体育読本を活用し、教えることと考えることを児童から引き出す学習を展開し主体的に取り組もうとする態度を育む。

《他教科での取り組み》

・家庭科では、栄養職員と連携し食育との関連を図り、児童が日常的に自己の健康と向き合う素地を養っていく。

特別活動・総合的な学習の時間

《道徳・特活・総合》

・運動会では、体育学習を通して培った資質能力をさらに発展させ、体力向上を図る。

・運動委員会で計画・運営したスポーツ週間を行う。

・保健委員会では、児童の健康面での課題を解決していくとともに心の健康も培っていく。

・たてわり活動を活用し、運動会での「南区音頭・タタロチカ」や「たてわり対抗綱引き」を通して、運動に親しむ。

・「横浜の時間」の中で、食物の栽培活動に触れ、食の大切さを実感させる。

課外活動

・健康な体をつくるための食生活についての理解を深め、食への興味をもつことができるよう、給食週間を実施する。

・学校保健委員会で、けがの予防や生活習慣などのテーマを設定し、改善策を考えて各学級が気を付けて取り組めるような指導や啓発を行う。

令和元年度 横浜市立南太田学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 体力向上・運動時間の確保

《ねらい》 雨天時は体育館を開放することで、天気に関わりなく子どもたちが運動に親しみ、体力向上につなげていけるようにする。

《内容》

- ・体育館開放日を設定（クラスごとに中休み・昼休みを割り当てる）する。雨天時でも運動に親しめる環境をつくる。
- ・放送委員会による外遊びの呼びかけ（毎日）
- ・運動委員会による中休みや昼休みを活用した、スポーツ週間の充実。「短縄マイスター」を行い、体づくり運動である「なわとび」に親しめるようにする。
- ・集会委員会によるドッジボール大会を行う。

●指 標： ①生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「睡眠時間」「朝食摂取状況」「1日の運動・スポーツの実施時間」

②市学力・学習状況調査の意識調査と子どもの活動の状況との分析